

○議長 横尾 武志君

1 1 番、益田議員の一般質問を許します。益田議員。

○議員 1 1 番 益田美恵子君

おはようございます。1 1 番、益田美恵子、一般質問をさせていただきます。

初めに、給食センター施設の建て替えについてお尋ねいたします。

項目 1、給食センターは、昭和 4 6 年 3 月に完成し、4 月から稼働開始いたしております。早 4 0 年を経過いたしております。建物の老朽化が一段と進んでいるようですが、維持管理はどのようになっているのかお尋ねいたします。

項目 2、建物の建て替えについては、委員会でも早急に進めていくように意見を付されていたと思いますが、その後検討は行われているのか、あればその内容はどのようなものなのか、またその方向性はどのようなものかをお尋ねいたします。

1 回目の質問を終わります。

○議長 横尾 武志君

執行部の答弁を求めます。学校教育課長。

○学校教育課長 岡本 正美君

益田議員のご質問にお答えいたします。

項目 1 点目の、給食センターは建設後相当の年数が経過していると。建物の老朽化が一段と進んでいるが、維持管理はどのようになっているかというご質問に対しましてお答えいたします。

同センターは、昭和 4 6 年に建設された 4 0 年を経過する建物であります。壁等の亀裂も目立つ老朽化が著しい施設であります。子どもたちに安全でおいしい給食を提供するという使命から、給食に影響が出ないように迅速な補修等を行っております。

具体的には過去 3 年間の補修状況は、平成 2 0 年度は屋根補修など約 1 5 0 万円、2 1 年度はボイラー制御盤取りかえなど約 3 5 0 万円、2 2 年度は調理室の床改修など約 1, 6 0 0 万円となっております。ただし給食を提供するために長期休暇中に工事をしなければならないことがあり、工事が大きくなると苦慮するところです。

なお、今後の主な設備として、換気フード設置工事、ボイラーの更新に取り組む予定であります。

続きまして、項目 2 についてであります。建物の建て替えについては、委員会でも早急に進めていくように意見も出されたと思いますが、その後検討は行われているのか、あればその内容はこういったものか、その方向性はどのようなものかというご質問に対してお答えいたします。

第 5 次芦屋町総合振興計画の中に建て替えの検討があることから、昨年度設置した 6 名の係長で構成する検討委員会で、建て替えについて、場所、施設の規模などについての検討を行ってお

平成 23 年第 2 回定例会（一般質問）

ります。現段階では、まだ何ら方向性が得たわけではありませんが、現在の施設の老朽化の現状から、積極的に検討を進めたいと考えております。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

企画政策課長。

○企画政策課長 吉永 博幸君

給食センター建て替えの検討に関しまして答弁させていただきます。

給食センターの建て替えの一つの手法としまして、建設コスト、ランニングコストを軽減するため、遠賀町と共同で設置することができないか、遠賀町へ声を掛けさせていただいております。

本年 1 月から給食担当課、それから企画担当課の職員が参加し、勉強会を 3 回開催しております。勉強会では、現在遠賀町が直営で給食センターを運営していることに対しまして、芦屋町では既に調理部門の民間委託を行っているなどの状況が違っております。共同設置する場合の建設財源、運営方法、建設場所などについて話し合いを行っている状況で、もう少し協議を重ねていく必要がございます。

遠賀町と給食センターの共同設置に関する勉強会の状況は、以上のとおりでございます。

○議長 横尾 武志君

益田議員。

○議員 11 番 益田美恵子君

ただいまるご説明がありました。本当に平成 20 年、21 年、22 年とお金が約 2,000 万ぐらいかけられての補修工事が行われているわけですが、今回も出ておりますし、今からこの建て替えをするまでの間に相当のまたお金がつき込まれるんではないかと、このように私は考えるものですが、その補修のためにこれだけお金をかけてするのか、それとももう老朽化してほかのところではちょっと見当たらないような施設の内容でございますし、早急に建て替えというのは必要になってくるのではないかと。

遠賀町と勉強会を 3 回行ったということでございますが、遠賀町においてはやはり直営という、先ほどもおっしゃったように直営の問題、それからこちらは米飯を委託しておりますので、その問題点等がなかなかネックとなって前に進まないのではないかとこの懸念を持っているわけですが。

例えば、給食センターの中には運営審議会というのが、11 名で構成されておりますが、年に何回ぐらい審議がなされて、どのような内容のものか。教育長、それから学校長 3 名、それから中学校の校長、各 P T A 会長 4 名で構成されて、あと給食担当の先生が 2 名ということでございますが、主にどのような内容の検討がなされているのか、教育長、よろしく申し上げます。

○議長 横尾 武志君

教育長。

○教育長 中島 幸男君

お答えをいたします。

給食審議会は年に 2 回ほど開催されております。年度当初と年度末ということでございまして、年度当初には主に今年度の給食をまずは何回ほどやるかと、小学校と中学校で。そしてその値段、そして内容はこうですよというような話のことを年度当初、年度末につきましては、それに対しまして経費等の報告があります。

特にその中で審議会では、まず一番子どもたちに安心安全と、それにおいしい給食と先ほども話がありました。そういうことございまして、試食会をやりましょうとか、またできましたら見学をやりましょうと、そういうようなことを主にやっております、確かに委員さんの中からも建て替えの、これ大丈夫かねという話がありますが、今委員おっしゃいますように、この補修に、建て替えまでの経費というのはやっぱりかなりかかるだろうと思いますが、一番苦慮するのは、給食をとめるということはできないんです。ですから、場所をかえて並行してやらなきゃいけない。給食を提供しながら、一方では建物を建てるといところが非常に苦慮するところございまして、今その地点をどこにするかということも含めて検討していきたいと、このように思っております。

以上です。

○議長 横尾 武志君

益田議員。

○議員 11 番 益田美恵子君

10 日の日に、今月の 10 日に、私も長いこと行っておりませんでしたので、数回見学には行かせていただいていたのですが、今回また特に質問をさせていただくということで見学に、午後 2 時ぐらいに行かせていただいて、本当に、担当の方がおっしゃるのは、一番食中毒のことが神経を使うところなんです。食中毒を起こしたら、もう給食は終わりですからというお話、また食中毒を出さないように最善の注意を払っておりますという、本当にそうだろうかと、施設の内容から見ても相当神経を使っているんじゃないかというのが伺い知ることができました。

私も帽子とそれから衣服を着用して入らせていただいて、ちょうどそのときは食器類の洗浄、乾燥、それから消毒の順に従事の方がなさっている最中でございしましたが、その室内温度をどれぐらいありますかとお尋ねしましたら、ちょうど食材を運ぶ、学校に搬送するときの大きなドアはあけてあったんですが、それにもかかわらず、室内温度が 30 度ありました。湿度が 90 ということで、サウナに入っているような、本当ただもう見せていただくだけでも汗をかくような

状況でございました。

その中で食器類を洗浄されるときには、マスクだけは外しておられましたが、帽子と洋服は着用して、長靴やはいて仕事しているわけですから、もう熱気むんむんといいますか、本当に何回も洋服をかえるんですよという、そのようなお話もされておりましたし、その中でも手際よく作業されている姿に私は感動いたしましたし、皆さんの「食中毒を絶対出さないぞ」という意気込みもを見せていただいたような気がいたしました。それだけに、やはり早く何とか建てかえをやっていただくことの重要性を再認識したところです。あんまり会話はできませんでしたが、一言ちょっとお尋ねしましたら、「仕事ですから」という言葉が返って、幾ら仕事とはいえ、本当にもう少し何とかならないかなという思いをそのときにいたしましたわけですね。

ちょうど乾燥する窓が——窓というのがドアが大きく開いてるんですが、普通午前中は食材をつくるときは、そこもシャットアウトされますので、もっと気温が上がります。ところが大きな換気扇が、事務所のほうから入って右手のほうに大きな換気扇が 4 基ついてます。ところが、もう古いですから、回るのかなというその心配があったので、「ちょっと回していただけません」と言ったら、またその騒音たるや基地の滑走路の飛行機の音よりももっと大変な音が、ゴーっという音がですね。ああ、これはこの中で仕事するというのは大変な、何かもうちょっと気分が悪くなりそうな音でしたね。

だから、やはり安全が第一であって、本当に子どもたちにおいしい給食を食べさせてあげたいという、センターにいらっしゃる方々の思いを考えると、もっと真剣に考えていかなきゃいけないんじゃないかなという思いがするわけですが、この建設費用といたしまして、どれぐらいかかるとかの検討というのはあったのでしょうか、お尋ねします。

○議長 横尾 武志君

学校教育課長。

○学校教育課長 岡本 正美君

他市町村の情報であります。田川郡のある町で 21 年度に建設して概算で約 10 億円という資料をいただいております。

○議長 横尾 武志君

益田議員。

○議員 11 番 益田美恵子君

10 億っていったら大変ですね、芦屋町におきましては。やはり財政難のときでございますので。しかし、何らかの補助金とかいろんなものを検討していただいて、早急にこのような建てかえの検討委員会を、もう少し積極的に進めていただけないものかと思っておりますが、その点については、現在遠賀町との話し合いと、それから係長 6 名での検討委員会ということですが、余

平成 23 年第 2 回定例会（一般質問）

り前に進んでないような状況ですが、今後の取り組みについてお願いいたします。

○議長 横尾 武志君

学校教育課長。

○学校教育課長 岡本 正美君

先ほど検討の関係をずっと続けているということでお答えしておりますが、検討の項目の中に用地の問題というのがあります。これは給食センターが食品工場の扱いになるということで、建てられる用地が限定されます。それと今建っている現施設用地がいろんな保健所の指導状況を考えた中におきましては、用地が狭いという状況があつて、用地の問題、それと先ほど言いましたように財源の問題ですね。平成 21 年度で 10 億ということでしたが、建設コストの関係で年々上がるかもわかりませんが、そのあたりで有効な補助金等の活用も考えていかなければいけないということと、給食をストップするわけにはいかないということの中で、現在どういうふうにするかということで検討をしているということでございます。

○議長 横尾 武志君

企画課長。

○企画政策課長 吉永 博幸君

遠賀町との建て替えを一緒にしたらという検討、勉強会なんですけど、これにつきましては、今まさしく学校教育課長が答弁されたような場所、それから財源の問題、そういったものは協議をしております。

遠賀町との勉強会につきましては、基本それは給食センターの建て替え検討委員会の中での一つの事項でございます。したがって、建て替え検討委員会の結論の時期、それにあわせて遠賀町とともに考え方はまとめていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

益田議員。

○議員 11 番 益田美恵子君

それから施設の問題で、ちょっと一番気になるところは、先ほど申し上げました大きなドアのところ、学校に食材を搬送する車が施設の横に着きますが、そこが今現在、ほかの給食センターとかを見ても、まずあけたら調理室とかいうところはまずもってないだろう。結局害虫をよそから入れないようにするために、上から何か風をぱっと落としておりますが、本来はその外にもう 1 カ所窓があつてというか、搬送するところがあつて、そこまで持って行って出すというのが一番安全性が確保されるというところなんです。

ところが芦屋町においては、もう食材を運ばなきゃならないときには、そこをぱっとあけてそ

平成 23 年第 2 回定例会（一般質問）

こちら出すということになりますと、本当に一番害虫とかが入りやすい。ハエたたきを持ってますとって、ハエたたきでたたいて、ハエたたきも見せていただきましたけれども、本当にものすごく神経を使っていらっしゃるだろうなというのが伺えるわけですね。だから、食中毒がなかったことが本当に今まで幸いであって、これから梅雨時とか暑くなったりしますと、より一層皆さんがその神経を使っていくわけですから、やはり早急にこれは補助金の問題とか、10億かかるのであれば、どういった補助金を持ってくれば幾らで済むとか、そういったのをやはり積極的に進めていただく必要があるだろうと、このように私は思います。

それから項目 2 点目に入りますが、この意見を提出しているはずですが、それは平成 11 年 3 月の定例会において、「会議結果の報告について」という中で、町長提出議案第 38 号平成 11 年度芦屋町給食センター特別会計予算についての審議の結果、給食センターの建て替えについて早急に検討されるよう要望するとの附帯意見をつけて出されているはずなのですが、その後、既に 12 年経過いたしております。その間に担当もかわり、大変だったろうとは思いますが、委員会に報告がなされていないということが、ちょっと大変気になっているところでございまして、検討委員会、何回かされているわけですから、そういった報告がなぜ 12 年間経過したにもかかわらず、なかったのかということについて、ちょっとご答弁お願いします。

○議長 横尾 武志君

学校教育課長。

○学校教育課長 岡本 正美君

平成 11 年の 3 月と、12 年前ということなのですが、内部的には実施計画等で検討はされていたようですが、先ほどからの用地の問題も含めて、クリアすべき課題がたくさんあるといった中で現在まで建て替えができなかったということでございます。

委員会の報告につきましても、ある程度の方向性が見えた中で報告すべきことだろうと考えます。

そういった中で現在設置してあります検討委員会におきまして、このあたりを早い段階で改善すべく協議を進めて、早い段階で方向性を見出していければというふうに考えております。

○議長 横尾 武志君

益田議員。

○議員 11 番 益田美恵子君

年度でいろいろ改修工事が行われておりますので、その都度委員会においては、この建てかえ建設のことについては何回も要望いたしておりますし、最終的に平成 11 年の 3 月に附帯意見をつけているわけでございますので、それは経過がどうであろうとも、やはり委員会に報告すべきものではないかこのように思っております。

最後に、町長の方針をお聞かせ願えればと思いますが、よろしく申し上げます。

○議長 横尾 武志君

町長。

○町長 波多野茂丸君

冒頭に課長が答弁いたしましたように、やるということで進んでおるわけで、検討委員会も何回もやっておるわけです。その方法につきまして、やはり、今もう単町だけではなく、いわゆる今からの行政というのは広域的に一緒にやれるものは効率的にやろうということで、芦屋町は今遠賀町と電算を共同化やっておるわけでございます。たまたま遠賀町も給食センターの建て替えという形の中で、じゃあ一緒にやれるものであれば一緒にやれば、経費もいろんな形で財源の節約になるということで、その方向をしながら、もしそれがだめになった場合は単町でやるという両方の考えを持って恐らく検討委員会はやっておるものと私は思っておるわけでありまして。

ということで、先ほど益田議員が言われました平成 11 年の附帯意見書、そのとき私、担当委員会おりましたので、よく覚えております。その係長の方もよく覚えております。一生懸命委員会で建て替えのことについて、ぜひお願いしたいと言われておったこともよく私は記憶しておるわけでございます。

ただいろんな、その間のいろんな状況、競艇の売り上げ減だとか、いろんな財政の状況で今日に至っておるのではないかと考えております。

40 年を経過する建物、これは給食センターだけではありません。芦屋町内も 40 年経過した建物はたくさんあるわけでございます。今いろんな、何とか少しずつ持たしてということで、いろんな修理をやっておるわけでございまして、給食センターも、先ほど申し上げましたように、やるという形の中で検討を進めておりますので、ご理解を賜りたいと思います。

○議長 横尾 武志君

益田議員。

○議員 11 番 益田美恵子君

この問題は、私たち所管の委員会でもございますので、せっかくこのように検討委員会を持ちながら検討されているわけでございますので、これがどこまで今経過が進んでいる状況の報告等を委員会に報告を願えればと思っております。私たちも所管の委員会でございますので、この建て替え問題については勉強もさせていただきまして、よりよいものができることをともに頑張っていきたいと、このように思っておりますので、報告のほうをご要望申し上げて質問を終わらせていただきます。

○議長 横尾 武志君

以上で、益田議員の一般質問が終わりました。